

今回(延長1.2km)の部分開通による主な整備効果

効果

国道11号の交通が分散するとともに、白鳥大内ICへのアクセスルートが増え、**利便性が向上します。**

○今回の開通により、白鳥大内ICへのアクセスルートが増え、利便性が向上するとともに、交通の分散により主要渋滞箇所であるJR三本松駅前交差点の渋滞緩和が期待されます。



写真① JR三本松駅前交差点を先頭に渋滞する車列

写真② 中筋団地入口交差点の混雑状況



全線(延長9.2km)の開通による主な整備効果

効果① 国道11号の慢性的な渋滞が緩和され、地域の交通環境が改善します。

- 国道11号を利用している通過交通がバイパスへ転換し、国道11号の慢性的な渋滞が緩和することが期待されます。
- これにより、**周辺地域へのアクセスが改善するとともに、通学時の安全性も向上し、地域の交通環境が改善します。**

●国道11号バイパス並行区間の旅行速度

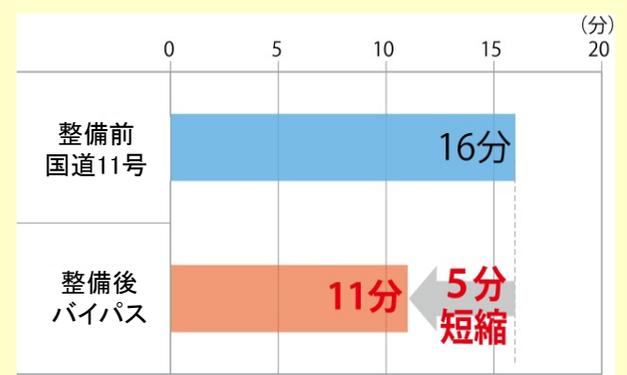
◆地域の声

- ・朝夕のラッシュ時には国道11号が混雑するが、バイパスが整備されれば、**市内外への通勤が便利**になる。(東かがわ市商工会)
- ・日常的にも移動の多い**高松市方面へのアクセス性が向上**することで、より**住みやすい環境になる**ことが期待されます。(東かがわ市民)
- ・学校西側市道の**国道渋滞を回避する交通が減少し、通学時の安全性が向上**する。(大内小学校)



混雑時の旅行速度が20km/h
台と低速区間が連続する

所要時間の変化(バイパス起終点間)



資料)開通前:H22道路交通センサス
開通後:H17道路交通センサスに基づくH42将来交通量推計結果



今回開通区間
延長 1.2km

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平15四様、第116号)

全線(延長9.2km)の開通による主な整備効果

効果② 手袋をはじめとした地域産業拠点から、白鳥大内ICへのアクセス性が向上します。

○大内白鳥バイパスの開通は、国道11号の渋滞を緩和させるとともに、**全国一位のシェア79%**を誇る手袋産業等の**地場産業拠点**や**大内工業団地**と**白鳥大内IC**等との**アクセス性を向上**させ、**地域産業の活性化**が期待されます。

